

各地のITS活動紹介

A 移動手段の多様化

横浜市

パーソナルモビリティの実用化

(横浜市温暖化対策統括本部プロジェクト推進課)

新たなモビリティの確立 ~今後の展開~



会員用ホームページ

予約状況閲覧

○この取り組みを行うことにした背景/理由

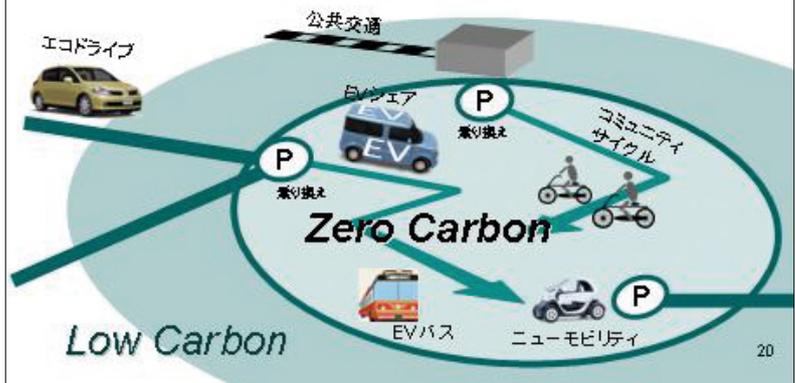
本市では「ヨコハマ モビリティ プロジェクト“ゼロ” (YMPZ)」を展開し、低炭素交通の普及促進に努めている。また、一方で平成23年に環境未来都市として選定され、環境だけではなく、超高齢社会、経済など都市を取り巻く様々な課題にチャレンジしている。

その取り組みの一貫として、コンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な足となる移動手段を導入し、医療、介護や防犯パトロールなどに活用することで環境対応車とまちづくりの新たなアイデアを盛り込んだ「環境対応車を活用したまちづくり」を進めている。

今回は、観光用のツールとして新たなモビリティを活用し、回遊性や機動力といった車体の性能や貸出予約システム、管理システムといった運営を実証し、将来的に駅を降りてから複数の低炭素交通手段からニーズに合わせて自由に選択できる低炭素交通社会の実現を目指している。

次世代交通推進施策

- 目標：用途・目的に応じて選択できる様々な低炭素交通手段の構築
 コンセプト：◆ 新たなパークアンドライド
 (公共交通⇒低炭素交通手段で移動⇒公共交通)
 ◆ 低炭素交通手段の優先or非エコ規制



○システム構築/サービス提供開始

- (1) 実施主体 日産自動車株式会社、横浜市
- (2) 運営パートナー
株式会社日産カーレンタルソリューションほか
- (3) エリア 横浜都心エリア
- (4) 期間 H24.11.19～H25.1.31 (休業日あり)

